

予算編成の考えは

長振・まちづくり推進計画を遵守

市村 千恵子 議員



問 所得が上がらず雇用も不安定のなか、生活不安が広がっている。農業所得も大幅に落ち込み、税収減が見込まれる。

地域経済の落ち込みが予想されるなか、新年度予算編成はどのような考え方でされたのか。

また栄橋の架け替えなど大型事業を実施しているが財政状況はどうか。基金と公債費の動向について問う。

企画財政課長 長期振興計画、自律協働のまちづくり推進計画を遵守し実施してきた。まちづくり交付金事業の継続実施や次期計画の策定、子育て支援を始め福祉の充実や可能な限り景気対策を実施できるよう、制度の延長、制度改正とともに予算編成に努めてきた。また交付税措置のある有利な町債の活用を心がけて



工事中の栄橋

きた。普通会計の基金は、平成24年度末には44億9千800万円、3億9千400万円の増となる。平成19年度基金残額より、11億1千800万円ほど増えている。公債費の状況は、平成23年度末残高が60億4千600万円、前年比で約400万円の減となる。町債の借入は、交付税措置のあるものを基本としたことから、約60億円の73%にあたる44億1千780万円が交付税措置される見込みであり、財政状況は良好に推移している。

一般質問

全国町村議会議長会

二氏に議員功労賞

表彰の伝達が、3月8日の本会議開会前、議場において行われ、永年（在職年数15年以上）町議会議員として功績のあった柳澤治議員、市村千恵子議員がそれぞれ全国町村議会議長会表彰を受けました。



「よりよい審議のための議会運営／議会改革」 11月19日～20日

山梨県身延町・富士川町

身延町は、平成16年9月に下部町、中富町、身延町の3町が合併した、人口1万4千580人、議員定数は16名である。

予算決算は全員で本会議で審議し、6月と12月議会は委員会付託せず本会議だけのこともある。

一般通告質問は、開会1週間前の議会運営委員会の前日が締め切りで、その後議案書が配布され、一般質問は、40年前から対面で一問一答方式を取り入れ、質問時間は答弁を含めて1時間である。

全員協議会は定例会前に開催している。住民懇談会は5年前から開催しており、年2回ほどで1回3カ所くらいを議員全員で実施しているが、出席者は少ない。人数にはこだわらず、継続することが大切と話していた。

また平成17年9月議会で通年議会、夜間議会の決議をあげたが、実施には至っていない。

翌日の富士川町は、増穂

町と鯉沢町が合併し、平成22年3月8日富士川町が発足した。人口1万6千460人で、議員定数は16名である。議会運営は旧増穂町のやり方を踏襲している。

議会前に3回の議会運営委員会を開催し、1回目は定例会日程の決定、2回目は、議案説明を町長から受けて、その後全員協議会を開いて、総務課長から議案の内容説明を受ける。(質問は一切しない)。3回目は、一般質問の検討である。



議案書は、開会3日前配布で、臨時議会は前日の配布である。議会運営委員会の持ち方など議案に対する審議をより深めようと努力していることがうかがえた。

議会改革の目標を、平成22年9月24日に決定し、町民に開かれた議会を目指す。議会改革の取リかかりとして、すぐできることから始めようと休日議会や地区懇談会を開始した。

休日議会は、6月定例会の一般通告質問で行っている。地区懇談会は19地区の内、4地区へ8人ずつ2班編成で実施し、出席者も平均36人で多いと感じた。

今回の研修は、議会日程の組み方など、よりよい審議ができるための、議会運営がとても参考になり、今後に活かしていきたいと感じた。

議会運営委員会委員長

市村 千恵子

議会日誌

式典・町定例議会等は除く

12月 25日

佐久広域連合議会全員協議会・第4回定例会

1月 16日

議会たより編集委員会
議会たより編集委員会

24日

佐久市・軽井沢町・立科町・御代田町
議会合同議員研修会

31日

県議会広報研修会

2月 6日

佐久水道企業団議会運営委員会
浅麓環境施設組合議会運営委員会

8日

浅麓水道企業団正副議長委員長・代表者会議

13日

平成25年佐久水道企業団議会第1回定例会
北佐久郡議会議長連絡協議会

15日

平成25年浅麓水道企業団議会第1回定例会
平成25年浅麓環境施設組合議会第1回定例会

18日～19日

議会運営委員会行政視察研修
佐久広域連合議会運営委員会

21日

平成25年森山財産組合議会第1回定例会
県町村議会議長会第16回定期総会

22日

佐久水道企業団例月監査

3月 1日

町議会運営委員会

4日

平成25年老人福祉施設組合議会第1回定例会